

2019年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月13日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若林裕紀子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 2019年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第2四半期の連結業績 (2018年11月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	8,410	9.8	△140	—	△95	—	△12	—
2018年10月期第2四半期	7,659	△8.0	△64	—	△158	—	△236	—

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 △140百万円(—%) 2018年10月期第2四半期 △123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	△0.49	—
2018年10月期第2四半期	△9.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年10月期第2四半期	17,401	6,037	34.7
2018年10月期	16,753	6,226	37.2

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 6,037百万円 2018年10月期 6,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年10月期	—	0.00	—	—	—
2019年10月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想 (2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	3.5	△60	—	10	—	70	—	2.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年10月期 2 Q	24,650,800株	2018年10月期	24,650,800株
2019年10月期 2 Q	52,690株	2018年10月期	52,690株
2019年10月期 2 Q	24,598,110株	2018年10月期 2 Q	24,598,111株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年11月1日～2019年4月30日)における我が国経済は、2019年1-3月期のGDP成長率が、年率換算で実質2.2%増と2四半期連続のプラス成長となりました。国内経済は企業収益が堅調に推移し、個人消費や雇用環境についても改善が続くなど、緩やかな拡大基調が続きました。一方、米中貿易摩擦の長期化、英国の合意無きEU離脱の可能性等によるサプライチェーンへの世界的な影響と混乱、またそれによる景気後退も懸念され、先行きは非常に不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境は、広告メディアの多様化による紙媒体の需要減少等の影響により、毎月の印刷用紙の国内出荷は、前年同月対比で連続して減少をしておりますが、製紙メーカー各社が打ち出しました用紙値上げにつきましても、着実に浸透しつつあります。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、引き続きデジタル印刷を含めた当社独自製品の販売に注力を致すとともに、印刷用紙価格の値上げ分の転嫁を進めた結果、セグメント売上高は5,811百万円(前年同期比11.0%増)と増収になりました。また、今後の増収策として、引き続きECサイトにも注力をしてまいります。製造面では、工場の人員配置の流動化および製造オペレータの多能工化、提案制度による生産性向上等により、セグメント利益は233百万円(前年同期比111.9%増)となりました。

メディア事業につきましても、コスト削減のため本社事務所の移転等の諸策を講じましたが、当初の想定通り、上期はそのための費用発生が先行し、成果は下期を待つこととなります。また、事業領域拡大のため、新規に、WEBサイトを軸としたエリアマーケティング支援事業に取り組んでおりますが、一部において納期のズレが発生し、売り上げ計上が下期に繰越となったこと、人材紹介のための「Eしごとばどサイト」をオープンするための先行投資の結果、セグメント売上高は905百万円(前年同期比22.2%減)、セグメント利益は56百万円の損失(前年同期は63百万円の損失)となりました。第3四半期以降は、事業構造改革による売上高の回復及びコスト削減が具現化される見込みです。

知育事業につきましても、主力商品である音の出る本及び月刊誌の付録については堅調に推移しました。また、小学校の英語教育授業実施に伴う音ペン等の教育玩具の新規引き合いも増加している等の要因もありますが、当上期は、昨年の上期においては連結には含まれていなかった一社が新たに連結対象となったことから、セグメント売上高は2,182百万円(前年同期比32.3%増)と大幅な増加になっております。利益面では為替予約やグループシナジーによる原価低減策は功を奏しましたが、昨年下半年における発行数の大幅な増加が、今上期の在庫増加につながり、当該在庫に関わる評価減を行った結果、一時的な損失が発生し、セグメント利益は104百万円の損失(前年同期は103百万円の利益)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,410百万円(前年同期比9.8%増)となり、営業損失は140百万円(前年同期は営業損失64百万円)、経常損失は95百万円(前年同期は経常損失158百万円)、関係会社株式売却益121百万円の特別利益の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は12百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失236百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,401百万円と、前連結会計年度末に比べて647百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加997百万円、商品及び製品の減少134百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は11,363百万円と、前連結会計年度末に比べて837百万円増加いたしました。これは主として、電子記録債務の増加540百万円、支払手形及び買掛金の増加168百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,037百万円と、前連結会計年度末に比べて189百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少61百万円、その他有価証券評価差額金の減少92百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期通期の業績予想につきましては、2019年6月12日に「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,850	4,848
受取手形及び売掛金	3,696	3,788
商品及び製品	700	565
仕掛品	158	135
原材料及び貯蔵品	197	382
その他	321	148
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	8,908	9,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,147	1,117
機械装置及び運搬具(純額)	684	653
土地	2,602	2,602
その他(純額)	1,378	1,275
有形固定資産合計	5,812	5,648
無形固定資産		
のれん	500	456
その他	83	113
無形固定資産合計	584	570
投資その他の資産		
投資有価証券	1,019	902
長期貸付金	142	149
破産更生債権等	34	16
繰延税金資産	0	6
その他	343	326
貸倒引当金	△91	△71
投資その他の資産合計	1,447	1,329
固定資産合計	7,844	7,548
資産合計	16,753	17,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844	2,013
電子記録債務	1,307	1,848
短期借入金	450	397
1年内返済予定の長期借入金	762	907
リース債務	232	234
未払金	503	554
未払法人税等	37	32
預り金	13	42
返品調整引当金	57	49
賞与引当金	90	85
資産除去債務	14	—
その他	231	169
流動負債合計	5,545	6,335
固定負債		
長期借入金	2,881	3,058
リース債務	1,208	1,090
退職給付に係る負債	480	480
繰延税金負債	307	292
資産除去債務	24	24
その他	79	81
固定負債合計	4,981	5,028
負債合計	10,526	11,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	2,641	2,580
自己株式	△4	△4
株主資本合計	6,063	6,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	△2
繰延ヘッジ損益	34	2
為替換算調整勘定	12	10
退職給付に係る調整累計額	26	23
その他の包括利益累計額合計	163	34
純資産合計	6,226	6,037
負債純資産合計	16,753	17,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年11月1日 至2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年4月30日)
売上高	7,659	8,410
売上原価	6,023	6,718
売上総利益	1,635	1,692
販売費及び一般管理費	1,700	1,832
営業損失(△)	△64	△140
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	7	5
受取賃貸料	11	11
為替差益	—	53
受取保険金	2	—
その他	13	18
営業外収益合計	38	92
営業外費用		
支払利息	44	38
持分法による投資損失	14	2
不動産賃貸原価	4	2
為替差損	64	—
支払手数料	5	4
その他	0	△0
営業外費用合計	132	47
経常損失(△)	△158	△95
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	9	0
関係会社株式売却益	—	121
特別利益合計	10	121
特別損失		
固定資産除却損	2	1
関係会社整理損	85	—
特別損失合計	87	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△235	25
法人税、住民税及び事業税	4	21
法人税等調整額	△3	15
法人税等合計	0	37
四半期純損失(△)	△236	△12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△236	△12

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純損失(△)	△236	△12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△92
繰延ヘッジ損益	△1	△32
為替換算調整勘定	84	△1
退職給付に係る調整額	3	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	113	△128
四半期包括利益	△123	△140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△133	△140
非支配株主に係る四半期包括利益	9	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235	25
減価償却費	264	244
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△18
返品調整引当金の増減額(△は減少)	8	△7
受取利息及び受取配当金	△11	△8
持分法による投資損益(△は益)	14	2
支払利息	44	38
支払手数料	5	4
為替差損益(△は益)	29	△42
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△9	△0
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△121
固定資産除却損	2	1
関係会社整理損	85	—
売上債権の増減額(△は増加)	△21	△101
たな卸資産の増減額(△は増加)	143	△27
仕入債務の増減額(△は減少)	151	716
その他	157	74
小計	621	770
利息及び配当金の受取額	8	10
利息の支払額	△40	△38
支払手数料の支払額	△4	△4
和解金の受取額	380	—
法人税等の還付額	16	36
法人税等の支払額	△41	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	939	738
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△63	△29
有形固定資産の売却による収入	310	30
無形固定資産の取得による支出	△22	△9
投資有価証券の取得による支出	△7	—
投資有価証券の売却による収入	28	2
関係会社株式の取得による支出	△99	△224
関係会社株式の売却による収入	—	310
貸付けによる支出	△241	△10
貸付金の回収による収入	5	25
その他	△7	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95	96

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	△52
長期借入れによる収入	900	1,000
長期借入金の返済による支出	△355	△677
リース債務の返済による支出	△104	△99
自己株式の取得による支出	△0	—
非支配株主への払戻による支出	△3	—
配当金の支払額	△98	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	238	120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,075	997
現金及び現金同等物の期首残高	2,978	3,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,054	4,251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年11月1日至2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,875	1,159	1,624	7,659	—	7,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	361	4	25	392	△392	—
計	5,237	1,164	1,650	8,051	△392	7,659
セグメント利益又は損失 (△)	110	△63	103	150	△214	△64

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△214百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年11月1日至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,345	903	2,161	8,410	—	8,410
セグメント間の内部売上 高又は振替高	465	1	21	489	△489	—
計	5,811	905	2,182	8,899	△489	8,410
セグメント利益又は損失 (△)	233	△56	△104	72	△212	△140

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△212百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。